

課題調査部会の検討内容

分類	内容
魅力を活かした地域住民の交流に関する意見	中原区の歴史や文化財などを学び、また行事などを親子で楽しめるような冊子、紙芝居などをつくり、区内の小中学校や子ども文化センター等に置いたらどうか。
	中原区の魅力資源を表した「なかはらかるた」を作成し、区内の学校や子ども文化センターで活用してもらったらどうか。なかはらかるたの大判を作成し、大会を開催するのが良いと思う。
	寺社を巡るコースや散策コースを記しているマップがあると良い。
	中原区の魅力を紹介する動画があると良い。パソコンやスマートフォンや公共施設等でいつでも見られるようにする。
	中原区のものづくりについて、親子で知ることや体験ができるような機会をつくる。
	時間に余裕が出来た人たちにボランティアガイドになってもらい、区の魅力を案内してもらおうことが良いと思う。
	新しく区民になられた人たちも含め、区の魅力を通じた交流を図りたい。
	歴史的資源だけでなく、それにまつわる商品も区の魅力としてPRすべきだと思う。
情報発信に関する意見	区内の学校になかはらの歌を取り上げてもらい、区民になじみのあるものにする。
	チラシなどは、もっと一般の方が目につくようなところに置いた方が良い。ホームページが更新されたら知らせるような仕組みがあれば良い。区内の魅力についての情報が届く仕組みが必要である。
	企業や団体と一緒にやって行くと有効なときもある。たとえば、等々力競技場で川崎フロンターレの試合と合わせて行うなど。
	区の歴史や文化に関連するものを「開運なんでも鑑定団」のようなマスコミに投げかけたらどうか。
	中原区では、魅力資源で交流する活動はいろいろやっているが、区民に伝わっていないので、どう伝えるかということが課題だと思う。
中原区の魅力のPRにメディアネットワークを活用する。また効果的な活用方法を検討する必要がある。	

取組のアイデア
区の魅力を伝える紙芝居をつくったらどうか
区の魅力を描いたカルタをつくったらどうか
史跡等を巡るマップがあると良い
区の魅力を紹介する動画があると良い
中原区のものづくりを知ってもらう機会が必要である
ボランティアガイドがあると便利である
魅力を通じた地域住民の交流が必要である
中原区に由来がある商品も魅力資源とする
なかはらの歌などすでにある地元の歌を知ってもらうことが必要である
情報が多くの人の目につく場所に置く
ホームページの更新情報を知らせる仕組みが必要である
大規模なイベントや企業、団体の活動と連携してPRする
マスコミを活用する
団体の活動を知る機会をつくる
メディアネットワークを活用する

条件
市民(市民活動団体)が主体もしくは、市民と行政が協働で取組む交流方法を検討する。
有効な情報発信の方法を検討する。

取組(案)
魅力発見ワークショップの開催 区民が集まって中原区の魅力について話し合うワークショップを開催する。
カルタ・紙芝居の作成 子どもやその親などを含め、多くの人を楽しめる中原区の魅力を伝える紙芝居やカルタを作成する。
なかはらブランドの制定 区内でつくられているものを「なかはらブランド」として位置づけ、区民に広くPRする。
中原区のものづくりの体験・PR 中原区のものづくりの技術を知ってもらうために、学校の生徒や親子で楽しめる中原区のものづくりの体験やPRを行う。
魅力案内ガイド育成講座の開催 区の魅力を案内するボランティアガイドを養成する講座を開催する。
なかはらメディアネットワークとの意見交換 区の魅力の効果的な情報発信方法について、なかはらメディアネットワークと意見交換を行う。
なかはらメディアネットワーク情報コーナーの活用 効果的な情報発信方法を検討するとともに、情報発信拠点を拡充するため多くの人が目につく場所に情報コーナーを設置する。
メールマガジンの発行 区役所から配信されるメールマガジンに区の魅力や市民活動に関する情報を載せる。